

選考委員賞

森や木に親しもう

芝浦小学校 山光 浩生

今、「本物の森」が消えつつある。今から数千年〜一万年前は六十四億ヘクタールあった森林も今は四十億ヘクタールまで減った。日本列島にある森林も五十分の四十九から五十分の三十四にまで減った。この結果を見るとそこまで減っていないと思う人もいると思う。しかし今みなさんの周りには緑はほとんど人工の木であり土地本来の木ではない。またクヌギ、コナラなどの雑木林やスギ、ヒノキなどが整然と並んでいる森は「本来の森」ではない。

今、「本物の森」が消えている現状に対して僕は今現在ある「本物の森」を守る、そしてその土地に本来あるはずの木を植えるこういった働きが今、必要とされる時代だと思ふ。

木を植える、守るといふ働きはすでに何個かある。僕も三年のころ木を植えたことがある。その後、大きくなって達成感がありました。この達成感をあじわうことで緑を大切にしようと思う心が出来ると思う。こういう心が出来るからみんな緑を守ろうと思うんだと思う。

それなら今、自分たち出来ることはなにかそれは今の

現状をしっかりと把握し募金などの支援をすることが大切だと思ひます。また買う量使う量をなるべく少なくする。再生紙などを使うこのようなことは私たちにも出来ることだと思ひます。

ヨーロッパにはこういった意識をもった人が二十〜三十パーセントいるそうです。こういった人たちをふやすことが大切だと思う。このような運動は無理しなければだれでも出来ることだと思う。このようなことを一言でいうと「無だなものをもらわれない渡さない」これを心にとめて本物の森をどんどん守っていききたいです。

みなさんの生活をほんの少しかえることで私たちの生命を保つのに必ようである森林を守ることが出来ます。もちろん自分一人では不可能です。みなさんがんばってとりくんでみてください。